

科目名	人文社会看護学特論 Theories of Humanities and social Nursing		担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510) 浦野 茂 (503) 安部 彰 (505) ドライデン いづみ (502) 森下 直紀 (508)	教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 前期	科目 区分	共通科目Ⅱ	選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
科目目的	看護ケアとその対象となる人々の生活経験(日常生活、誕生、病気、障害、死など)について、心理的側面・社会的側面・倫理的側面の3つの側面からアプローチすることの看護学的意義を探究する。										
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。									
	関連するDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。 4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。									
到達 目標	1. 看護ケアとその対象となる人々の生活経験を人文社会科学の観点から多面的にとらえなおすことができる。 2. 人文社会科学の観点を看護学の観点や臨床看護の経験にもとづいて批判的に考察することができる。 3. 批判的考察を経て吟味された人文社会科学の観点をこれからの看護研究に活用することができる。										
成績評価方法 (基準)	授業における報告(50%)、授業への参加状況(50%)										
教科書	適宜指示する										
参考書等	適宜指示する										
受講者への メッセージ	既存の看護実践と医療のあり方やそれらの基本的前提について、看護学からはいったん離れて心理学・社会学・倫理学の観点から検討し直すことができれば、と考えています。										
備考											
回	学習項目	学習内容							主担当 教員	授業 方法	
1回	オリエンテーション	この授業の目的・概要・進め方について説明する。							全員	対面 (演習)	
2回	看護学と心理学の接点	心理学がどのような体系の学問であるか確認する。その上で看護学領域と心理学領域の関わりについて理解する。							小池	対面 (演習)	
3回	「こころ」と身体	医療における個の理解の出発点として、心理学の視点から「こころ」と身体の関係がどのように扱われてきた理解する。							小池	対面 (演習)	
4回	ポジティブ心理学的アプローチ	人の可能性へのアプローチとしてポジティブ心理学的視点について理解する。							小池	対面 (演習)	
5回	感情と理性・フラットとラウンド	近代看護の母フローレンス・ナイチンゲールが愛読したイギリス文学作品における人間の感情と理性のバランス、フラットとラウンドと分類される人間の性格を比較分析する。							ドライ デン	対面 (演習)	
6回	生と死の幫助	ナイチンゲールが最も影響を受けた文学作品から生と死の幫助者としての医療従事者像を分析し、近代イギリス文学作品における状況と比較し、相違点を理解する。							ドライ デン	対面 (演習)	
7回	経験としての病い	疾患と病という概念を通じて保健医療の社会文化的側面について検討する。							浦野	対面 (演習)	
8回	現代社会における保健医療の課題	現代社会の構造変化を踏まえて保健医療の課題について検討する。							浦野	対面 (演習)	
9回	現代社会における保健医療職	職業社会学の視点から保健医療職のあり方と課題について検討する。							浦野	対面 (演習)	
10回	日本社会と医療のラショニング問題	日本の医療保険制度の歴史を概観し、今後の医療の課題について検討する。							森下	対面 (演習)	
11回	アメリカの医療制度改革から日本が学ぶこと	アメリカの保健医療制度の歴史を概観し、日本の保健医療制度を比較検討する。							森下	対面 (演習)	
12回	生命・医療倫理の歴史と現在	生命・医療倫理の展開について解説する。							安部	対面 (演習)	
13回	生命・医療倫理の理論	功利主義など生命・医療倫理にかかわる倫理学の理論について解説する。							安部	対面 (演習)	
14回	生命・医療倫理の主要概念	インフォームド・コンセントや倫理原則など生命・医療倫理の主要概念について解説する。							安部	対面 (演習)	
15回	まとめ	ディスカッションを通じ、心理的側面・社会的側面・倫理的側面からの看護ケアのアプローチの意義について検討する。							全員	対面 (演習)	